

日本の気候の特色.2

名前

解答

解答

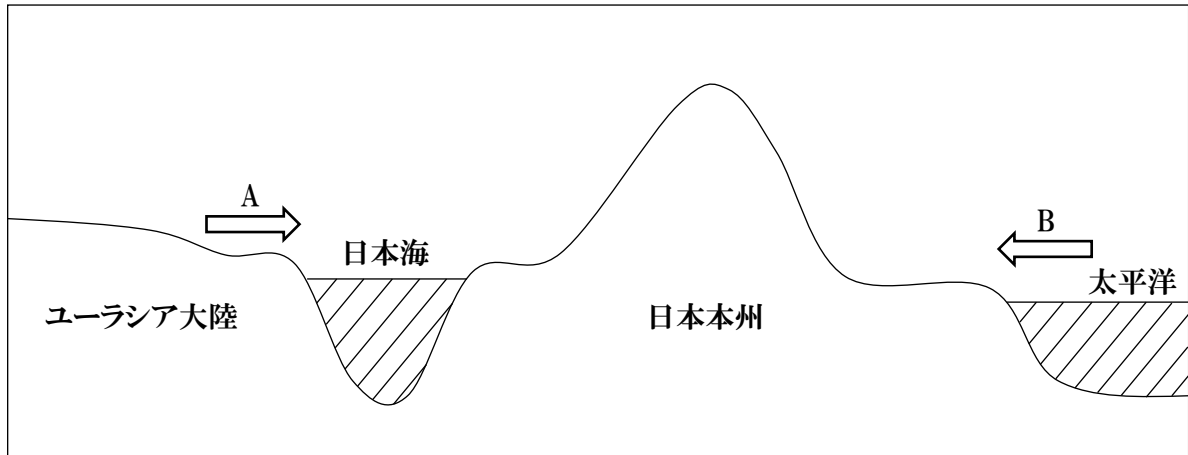
問1 温帯の気候区を3つ答えよ。

(地中海性気候) (西岸海洋性気候) (温暖湿潤気候)

問2 温帯の気候区のうち、日本の広い範囲が属する気候区は何か。

(温暖湿潤気候)

問3 下図について以下の設問に答えよ。



(1) A,Bの風は季節によって風向きが変わる。この風を何というか。 (季節風(モンスーン))

(2) A,Bのうち冬の風向きを表しているのはどちらか。 (A)

(3) 冬に日本海側で雨や雪が多いのはなぜか。

北西からの季節風が、暖流の対馬海流が流れる日本海で大量の蒸気を含み、日本海側の地域に雨や雪を降らせるから

(4) 冬に太平洋側で晴れの日が多いのはなぜか。

日本列島の中央にある山脈(奥羽山脈や飛騨山脈など)を超えた季節風は水蒸気が少ない。このため、太平洋側ではかわいた風がふいて、晴れの日が多くなる。

問4 日本で梅雨がない場所はどこか。 (北海道)

問5 赤道の北の地域で発生して日本に風水害をもたらす自然現象は何か。 (台風)

問6 次のうち正しいものはどれか。 (A)

(A)瀬戸内は、中国山地と四国山地に挟まれているため、水蒸気が届きにくく、降水量が少ない。

(B)梅雨は、日本にしかない自然現象だが、日本であっても梅雨のない地域がある。

(C)中央高地の気候は、季節風の影響によって降水量が多いのが特徴の1つである。

※梅雨は、日本以外にもある。

※中央高地は、山に囲まれているため降水量が少ない。

※このプリントは右の【ポテスクプリント】にて無料でダウンロードできます。

